

津奈木町郷土史料 薩摩街道

島津侯は何回通ったか

鹿児島藩の藩政期二六七
年は、第一九代家久、つぎ
の光久の二代八五年を前期
とし、第二二代綱貫につづ
く吉貴、継豊、宗信、重年
の五代六八年を中期とし、
第二六代重豪、齊宜、齊興、
齊彬、忠義の五代一一四年
を後期として三期に分け
る。鹿児島藩の歴史より
町誌上巻「七三三頁から
七七一頁」まで歴代の島津
侯は何時津奈木を通った
か、より前記前、中、後期
に分けて考えてみると次の
通りとなる。



町誌の七三三頁からを
参照下さい

（三五）のことである。
前期陸上上り下り共〇回
海上上り二七回、下り二七
回、不明上り四六回、下り
五一回、計上り七三回、下
り七八回。
中期陸上上り一八回、下
り二二回、海上上り二七回、
下り二六回、不明上り一回、
下り〇回、計上り四六回、
下り四八回。
後期陸上上り四一回、下
り二〇回、海上上り二回、
下り二回、計上り四七回、
下り二八回。
前期、中期、後期を集計
すれば上り一六六回、下り
一五四回となる。
前期は海上が主なもので
あったが後期は陸上が主と
なった。

寛永元年（一六二四）に
家久、光久共数度上京して
いるが寛永一二年に参勤交
代制度が確立しているの
で、此間前掲の数字に入っ
ている。
文章の上り、下りは以
下のように読みとる。
上りは江戸へ、下りは薩
摩へ。駅路を陸上と海路を
海上にわけ、津奈木通過の
日時不明を、不明にした。
文久二年（一八六二）閏
入日、参勤交代は事実上取
止めとなる。

税について

津奈木中学校3年
磯見 裕子

私は、ふだんあまり「税
について」考えることはあ
りません。しかし、税につ
いての勉強をして今自分の
町を見回すと、ほとんどの
ものが税と何らかの関わり
があることが分りました。
私たちが毎日通っている学
校も道路や病院、警察署や
橋など、どれも私たちが払
った税金でできていて、も
し無かったら困るものばか
りです。

私はこの前、授業で役場
へ行きました。役場が税で
できていることや公務員の
給料はすべて税金、という
ことなどある程度のこと
は知っていましたが、知らな
かったことなどいろいろな
話を聞くことができました。
例えば、私は今まで町で使
う税金のほとんどは、私た
ちの親から集めた税金や私
の一番身近にある消費税、
その他の税金でいたいはい
足りているんじゃないかと
思っていました。しかし、
実際は、国からの国庫支出
金や地方交付税交付金など
がなくては、私たちの町は
施設を建てたりいろいろな

ものを買ったりすることが
できないということを知
て知りました。都会の人で
も田舎の人でも不公平なく
暮らしているようにされ
ているので、とてもすごい
と思いました。そして、自
由に使っても良い地方交付
税交付金を、私たちが納
得でき役立つようなものに
使ってほしいと思いました。
私は、去年の夏休みの二
日間、老人ホームに仕事
の体験をしに行きました。理
由は、福祉関係の仕事がど
のようなものか、とても興
味をもったからです。

税金で出来ている老人ホ
ームは、とてもお年寄りの
人たちのことを考えて作っ
てありました。廊下は勿論
お風呂やトイレなどすべて
に手すりがついて、車椅子
が二台位通れるような広い
廊下でした。又、廊下のあ
ちこちに長椅子が置いてあ
って、お年寄りが疲れたら
いつでも座って休憩ができ
るようにしてありました。
そして、私が一番すごいと
思ったことが、ぜんぜん段
差がないことでした。お年
寄りの人たちにとっては少
しの段差でも転んでしまっ
たりすることがあるので、安
段差がないということは安



読書感想文 「わすれんぼうをなおすには」

新立 倫子
津奈木小四年

わたしは、わす
れ物ばかりするラ
ラさんのことをな
ぜこんなにいろい
ろなことをわすれ
るか不思議になっ
てきました。わた
しは、いつもわす
れそうときは、
手に書いていま
す。アラさんも、
わすれものをして
とてもこまること
があるのでわたしのやり方
をさんこうにしてみたい
と思います。

和楽器に親しむ

ここに、こんな人が……
船場満州生さん(66)
（古川）
水俣・芦北地区で
尺八を奏でられる方
は、少ないのではな
いでしょうか。そこ
で今回は、数少ない
中の一人であらまし
やいます古川地区に
お住いの、船場さん
をお訪ねしました。
チッソ勤務だった
船場さんは、昭和四
十五年に千葉へ転勤



千葉での生活を送られて
いる中、市報で尺八教室の生
徒募集がなされ、出かけら
れたのがきっかけとなつた
そうです。それから家庭の
事情で昭和五十三年に帰郷
されるまでの六年間程、先
生についてレッスンを受け
られたとのことでした。

現在は、水俣の尺
八同好会に所属され
ていて、水俣芦北地
区の老人ホームなど
の施設慰問や、チャ
リティショーなどで
の演奏が主な活動と
なっているようです。
尺八の他に琴も弾かれま
す。「琴は、たしなむ程度
ですよ」と話されました。
これからご自身の楽し
みとともに、日本文化の一
つでもある和楽器の奥深い
魅力を、私たちに届けて
頂けると嬉しいです。
（澤井記）

がんばった津奈木中生

郡・県中体連陸上大会



郡大会表彰式

今年も多くの方々に応援
とご援助を戴きましたが、
残念ながら、今年の郡中体
連陸上は、総合優勝は果た
ずことができませんでした。
しかし、県大会には四
十一名の選手が参加してき
ました。
代表男子四百米では、村
上浩章君が三十四年ぶりと
なる大会新記録で郡大会優
勝を果たしました。肉離れ

短歌

本郷武雄選

吾が胸の激つ思いをうけにけむ
淡きピンクの花はそよげり

肥後狂句

野田 浦子

国体に間に合わざりしひまわりの
花のプランター道路につづく

本町の教育員会に奉職し
て半年が過ぎました。
この間、数多い方との出
合があり、前職では経験出
来なかったことを学ぶこと
が出来て、感謝しております。



雑感

町教育長 齋藤 利一郎

小生が土木工学科の出身
であるため、今回の教育環
境の台風被害は行政的手法
で判断するよりも、工学的
見地で考察することが多か
ったように思います。

工学理論を教えております
が、全国的な土木事業発注
の停滞から、進路に関して
も学生に夢を与えられない
ことが最近の悩みの一つで
す。
小生が教えている土木工

学は、国土の整備や保全、
良好な環境の創造を通して、
豊かで住みよい国土建設、
さらに快適な生活環境をつ
くる我々の日常生活に密接
に関係した市民工学であり、
その使命は自然に働きかけ
て考えております。
学校教育に関する最近の
話題の中に、「学校と地域
社会との連携」あるいは
「学社融合」という用語が
使用されておりますが、後
者の「学社融合」とは、ど
ういう意味かを調べて見る
ことにしました。

これは、最近の児童、生
徒達を取りまく生活環境の
著しい変化を、社会的背景
として生まれた考え方であ
り、子供達の教育に関して
学校教育と、社会教育が密
接に係わりながら、充実を
図っていくという考え方を
意味しているようです。

コップ酒 チビチビがプロの技
捨てられて 気付いた時は附録つき
コップ酒 さかなは何もいらんちゃ
捨てられて もう新品に換えとらす
コップ酒 こつで終いてまた注がす
捨てられて 却ってせいせいしとり
ます 万葉
コップ酒 山盛り注いでくれけ言う
捨てられて かえって良か御亭のさ
らした 白足袋
コップ酒 こが飲まずにおらるるか
捨てられて 拾ってくれとまねく猫
寅之助
〔次笠〕有り余り すまん抜天
旅先にて夫に求めし風蘭の幾年ぶ
りか白き花咲く 西 滋子